参考様式第５－１号

多産第2557号
令和6年3月13日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

多可町長

市町村名 （市町村コード）	兵庫県多可郡多可町 （283657）
地域名 （地域内農業集落名）	加美区 （多田集落）
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月10日 （第4回）

注１：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注２：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

１　地域における農業の将来の在り方

（１）　地域農業の現状及び課題

平野部はほ場整備済みで主に水稲と黒大豆を耕作しているが、一部作付けされていない自己保全農地もある。山際は変形・狭小地で耕作しにくく、獣害被害も増加している。田・畑を耕作している農業者は36名だが、そのうち約70％以上が60歳以上の耕作者で高齢化が進んでいる。地域内では（農）エコファーム多田（認定農業者、法人化された集落営農組織）が約90％の農地を耕作している。
水路やため池は老朽化している部分があり、多面的機能直接支払交付金や中山間直接支払交付金を活用して適宜修繕をしたり、集落全体で草刈り、水路掃除、獣害柵の管理などを実施している。
【基礎データ】
・農家軒数　36軒　うち認定農業者（農業法人）1組織
・主な作物　水稲（コシヒカリ・山田錦）、黒大豆、一般野菜

（２）　地域における農業の将来の在り方

水稲（うるち、酒造好適米）および黒大豆を引き続き作付していく。農地の貸し借りについては農地中間管理機構を通じて実施するように地権者の理解を得ながら促すとともに、（農）エコファーム多田へ集約し団地化を一層進めながら自己保全農地の有効活用を図る。また農作業委託については、（農）エコファーム多田やJAにドローン・ヘリ防除を委託する。
引き続き、農会活動として多面的機能直接支払交付金や中山間直接支払交付金を活用しながら、集落全体で草刈り、水路掃除、獣害柵の管理などを実施する。また老朽化が進む水路の修繕を段階的に実施するとともに、計画的にため池のポンプの更新を実施する。そのほか、法面の草刈りに使用するリモコン草刈り機の購入や草刈り面積を減らすために防草シートを張るなど、スマート農業機械等を活用し作業の省力化を図る。あわせてラジコン草刈り機の操作を地域の若年者を中心に依頼することで後継者の育成を図る。あわせて資材や機械等を保管している農業用倉庫（集落所有）の修繕を計画的に実施する。

２　農業上の利用が行われる農用地等の区域

（１）　地域の概要

区域内の農用地等面積	37.1 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	37.1 ha
（うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積）【任意記載事項】	0 ha

（２）農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地およびその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

３　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

（1）農用地の集積、集約化の方針
集落内の農地は、（農）エコファーム多田に預けることで団地化を進める。
（2）農地中間管理機構の活用方針
農地の貸し借りは農地中間管理機構を通じて実施するように促す。
（3）基盤整備事業への取組方針
各種交付金を活用しながら水路の修繕を段階的に実施、ため池のポンプの更新を計画的に実施する。また集落が所有する農業用倉庫の修繕を計画的に実施する。
（4）多様な経営体の確保・育成の取組方針
ラジコン草刈り機を購入し、その操作を地域の若年者に依頼する。農会協力員の後継者の育成につなげる。
（5）農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針
（農）エコファーム多田にドローンの防除を委託 JAみのりによるヘリ防除委託

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

☑	①鳥獣被害防止対策	□	②有機・減農薬・減肥料	☑	③スマート農業	□	④畑地化・輸出等	□	⑤果樹等
□	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	□	⑧農業用施設	□	⑨耕畜連携等	□	⑩その他

【選択した上記の取組方針】
①多面的機能支払いや中山間直接支払を活用して集落全体の草刈り・水路掃除・獣害柵の管理などを実施する。
③ドローンによる防除の実施、ラジコン草刈り機の活用。
⑦省力化のため法面の草刈りに使用するリモコン草刈り機の購入。草刈り面積を減らすために防草シートを張る。